



国民健康保険

日本共産党が県に緊急申し入れ

19市町のうち13市町が値上げ!!

甲賀市の保険税率(前年対比)

		2023年	2024年	差
医療分	所得割率	6.80%	7.00%	0.20%
	均等割	23,600	24,500	900
	平等割	20,000	20,000	0
後期高齢者支援分	所得割率	2.40%	2.50%	0.10%
	均等割	7,500	8,300	800
	平等割	6,300	6,600	300
介護支援分	所得割率	2.10%	2.30%	0.20%
	均等割	9,600	10,000	400
	平等割	6,600	6,300	▽300

国民健康保険税の算定は、「医療給付」「後期高齢者支援」「介護支援」という3つの要素

で、それぞれ「所得割」「均等割」「平等割」を決めて算定されています。甲賀市の場合、

県への納付金引下げよ

滋賀県内19市町のうち13市町の国民健康保険税・料が今年度引き上げられました。滋賀県が「令和9年度に税・料の統一化」することを前提に、納付金を示しているために、市町は「引き上げざるを得ない」状況に追い込まれています。そこで日本共産党滋賀県地方議員団として5月23日、滋賀県に対して国の抜本的な財政支援を求めるとともに、納付金を引き下げよう求め、7項目の申し入れを行いました(写真)。



甲賀市

パートナーシップ ファミリーシップ 制度

甲賀市パートナーシップ・ファミリーシップの宣誓制度に関する要綱ができ、いよいよ7月から運用されることになりました。

お互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もがパートナーや家族とともに、自分らしく人生を歩んでいけるよう支援する制度。民法上の婚姻とは異なり、法律上の効果はありませんが、性的マイノリティのパートナー関係を自治体が認証し、医療や住宅などの困りごとを軽減するものとして、全国で実施する自治体が広がっています。

これまで基金を活用して、8年間税率を「据え置き」としてきましたが、今年度は引き上げとなりました。それは県に納める納付金が「税率を決めるのは市町の裁量」といいながら、国が一般会計からの繰り入れを抑えているため、納付金が引き下がる限り、国保加入者の負担増となる仕組みです。

山岡議員は「国の財政支援を抜本的に強化することが第一。そのうえで県が一般会計からの繰り入れを行い納付金を引き下げるべき」と、また令和9年度にむけたシミュレーションを示し、市町の合意なしに一方的な「統一」はやめるよう求めました。県は、「(加入者にとって)厳しい負担となっており、国に財政支援を要請している」と回答しました。

「国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書」可決

6月議会で「国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書」(山岡議員が提案)が賛成多数で可決されました。反対したのは、自民党誠翔会(6名)のみ。同党派長の戎協議員が「政権与党に連なる議員である以上、到底この意見書を適切だというふうには考えられない」と反対討論に立ちました。市長も知事も増額を求めている内容なのに、素直に賛成できないのは、なぜでしょう。

市内には信号機のない横断歩道が多くあります。特に通学路となっており危険な横断歩道で、人が横断するとセンサーが感知し「横断あり」の表示がされる表示板。右の写真は、近江八幡市内の民間保育園前に設置された「表示板」の〇印。滋賀県内では初めて設置されたもので、埼玉・宮崎に次いで全国でも三例目。甲賀市内でも通学路になつて「危険な横断歩道」に設置してはどうか、と山岡光広議員が提案しました。

信号機もない危険な横断歩道 設置したらどうか?



今年も国民平和大行進

甲賀・湖南コース



8月6日の広島めぐり歩き続ける国民平和大行進甲賀・湖南コースが6月15日、甲賀市役所前を出発して歩きました。日本共産党市議団と福井議員先頭に(写真)。